

授業科目(ナンバリング)	相談援助演習ⅡB (DA211)			担当教員	高島 恭子・韓 榮芝・野田 健・ ヴィラーク ヴィクトル・婁 孝承		
展開方法	演習	単位数	1 単位	開講年次・時期	2 年・後期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ ラーニング の 類 型
相談援助の知識と技術に係る他の科目との関連性を視野に入れつつ、社会福祉士に求められる相談援助に係る知識と技術について実践的に習得する。これらを専門的な援助技術として概念化し、理論化し、体系化していくことができる能力を滋養する。							④⑤⑥⑦⑩
ホスピタリティ を構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	具体的な相談援助場面及び相談援助の過程を想定した事例において、専門的な援助技術を使用できる。				課題レポート	30%	
情報収集、 分析力	相談援助事例における具体的な課題について、総合的かつ包括的なアセスメント及びプランニングができる。				小レポート グループ発表	20% 10%	
コミュニケーション力	具体的な相談援助場面及び相談援助の過程を想定した事例において、基本的な面接技術を使用できる。				課題レポート グループ発表	10% 10%	
協働・課題解決力	与えられた課題に取り組み、個人及びグループワークを遂行できる。				グループワーク	10%	
多様性理解力	具体的な事例を通して、多様な被援助者について理解できる。				グループワーク	10%	
出 席					受験要件		
合 計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>課題レポート（40%）では、学んだ専門的な援助技術を正しく理解し、応用できるかを評価する。文字数不足及び誤字、脱字は減点の対象とし、未提出の場合は単位認定を行わない。グループワーク（20%）では、基本的なコミュニケーション技術を活用しながら、有意義なディスカッションに貢献できたかを評価する。小レポート（20%）では、グループワークの成果を適切にまとめられるかを評価する。グループ発表（20%）では、グループワークの成果を適切にプレゼンテーションできるかを評価する。フィードバックはその都度、授業内で行う。</p> <p>なお、不適切な授業態度（教科書を持参しない、遅刻、私語、携帯電話等の使用、居眠り等）は、発覚した場合に減点の対象となる。</p>							
授業の概要							
<p>事例を題材としグループワークを通して、相談援助における各種実践モデル及びアプローチへの理解を深める。具体的な相談援助場面及び相談援助の過程を想定した実技指導により、各種理論に対する理解を深め、それらを応用できる専門的な援助技術の実技演習を行う。</p> <p>本科目の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分とする。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：社団法人日本社会福祉士養成校協会監修(2015)『社会福祉士相談援助演習(第2版)』中央法規出版 参考書：特に指定しない 指定図書：社団法人日本社会福祉士養成校協会監修(2015)『社会福祉士相談援助演習(第2版)』中央法規出版</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>グループワークを実施するため、教科書の該当箇所及び事例を事前に読んでおくこと。 グループのメンバーを尊重し合いながら、積極的に発言すること、調べること、書くこと。</p>							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	オリエンテーション	授業の進め方、評価等の確認を行う。	予習：前期の復習 復習：シラバスの熟読
2	実践モデルとアプローチ①	事例を通して医学モデル・社会モデル・生活モデルの違いと関連について体験的に学ぶ。	予習：教科書 182 頁の事例 復習：教科書 182-185 頁
3	実践モデルとアプローチ②	事例を通してストレング・スモデルについて体験的に学ぶ。	予習：教科書 186 頁の事例 復習：教科書 186-189 頁
4	実践モデルとアプローチ③	事例を通して心理社会的アプローチについて体験的に学ぶ。	予習：教科書 190 頁の事例 復習：教科書 190-193 頁
5	実践モデルとアプローチ④	事例を通して問題解決アプローチについて体験的に学ぶ。	予習：教科書 194 頁の事例 復習：教科書 194-199 頁
6	実践モデルとアプローチ⑤	事例を通して危機介入アプローチについて体験的に学ぶ。	予習：教科書 200 頁の事例 復習：教科書 200-205 頁
7	実践モデルとアプローチ⑥	事例を通して行動変容アプローチについて体験的に学ぶ。	予習：教科書 206 頁の事例 復習：教科書 206-209 頁
8	実践モデルとアプローチ⑦	事例を通して認知行動療法について体験的に学ぶ。	予習：教科書 210 頁の事例 復習：教科書 210-214 頁
9	実践モデルとアプローチ⑧	事例を通してエンパワーメント・アプローチについて体験的に学ぶ。	予習：教科書 216 頁の事例 復習：教科書 215-219 頁
10	実践モデルとアプローチ⑨	事例を通してナラティブ・アプローチについて体験的に学ぶ。	予習：教科書 220 頁の事例 復習：教科書 220-225 頁
11	実践モデルとアプローチ⑩	事例を通して家族システム論について体験的に学ぶ。	予習：教科書 227 頁の事例 復習：教科書 226-231 頁
12	実践モデルとアプローチ⑪	事例を通してケースマネジメントについて体験的に学ぶ。	予習：教科書 232 頁の事例 復習：教科書 232-237 頁
13	実践モデルとアプローチ⑫	事例を通してケースマネジメントについて体験的に学ぶ。	予習：教科書 238 頁の事例 復習：教科書 238-242 頁
14	実践モデルとアプローチ⑬	事例を通してケアプラン作成について体験的に学ぶ。	予習：教科書 243 頁の事例 復習：教科書 243-249 頁
15	まとめ	受講生自身による後期の振り返りとまとめを行う。 (期限までに課題レポートを作成し、提出する：詳細については授業時に指定する)	予習：後期の振り返り 復習：後期の復習